

「IT 連携授業説明会を行いました」

歯学教育推進室長 片岡竜太

文科省大学間連携共同教育事業である「IT を活用した超高齢社会に対応できる歯科医師の養成」も最終年度を迎えました。IT を活用した授業（D3 口腔医学とチーム医療Ⅰ、D4 口腔医学とチーム医療Ⅱ）を受けた3大学学生の意見をまとめると、「社会のニーズを意識して歯科医療を学ぶ事ができた」「安心安全な歯科医療の実践とチーム医療の重要性がよくわかった」「全身疾患の理解する必要性を実感した」「IT を活用すると予習、復習を行いやすく、また授業中に課題に取り組みやすい」など、肯定的な意見が多く聞かれましたが、同時に「正答の許容範囲を広くしてほしい」「IT 教材を活用した授業の実施方法が教員によって異なるため統一してほしい」など改善の要求も寄せられました。

これらの学生の要望に応えるために、授業を担当する教員13名を対象に「IT教材を活用した授業運用」と「e-ラーニング教材の作成・修正方法」について、5月6日(金)と10日(火)にPCで教材修正や授業中の正答率の集計など行う演習形式で説明会を実施しました。今後も継続される本授業により学生が超高齢者社会で活躍する歯科医師に成長することを期待します。

